

センターだより

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

第10号

平成29(2017)年3月14日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

平成28年度 教育センター 事業報告

1 教職員研修

(1) 市教育センター研修 192講座

参加者 のべ5,415人 (2/28現在)

<一般研修講座> 162講座 参加者 のべ5,050人

- ア. 管理職研修(21講座)
 - ・校長、教頭、新任校長、新任教頭
- イ. ライフステージに合った研修講座(84講座)
 - ・初任者、新転任者、フレッシュ(新規採用養護教諭・新規採用栄養教諭・新規採用事務職員・新規採用幼稚園教諭、新規任用講師)・ステップアップ、ヤングリーダー、学校パワーアップ、10年経験者、スクールリーダー(首席・指導教諭・主幹・主査)
- ウ. 教育課題別研修講座(15講座)
 - ・教育課程、人権教育、生徒指導、教育相談、応急手当、国際理解、歴史探訪等
- エ. 教科・領域別研修講座(17講座)
 - ・授業づくり(理科実験・観察、ICT活用、スーパーティーチャーに学ぶ等)
 - ・英語教育研修(課題研修、授業研修、夏季集中研修)
- オ. 幼稚園・小学校教育研修講座(1講座)
- カ. 専門職研修講座(8講座)
 - ・学校事務職員、栄養教諭、養護教諭、学校図書館担当者
- キ. 特別支援教育研修(16講座)
 - ・特別支援教育コーディネータ(共通4講座 選択10講座)、事例検討、支援学級合同研修
- ク. さつきらるーむ(初任者教員等相談室)(のべ16回)
 - ・研究授業等に向けての相談、初任者等への訪問指導



<情報教育研修講座> 30講座 参加者 のべ 365人

ア. 情報リテラシ イ. 授業活用 ウ. 課題・専門

(2) 校内研修支援

- ア. 校内研修講師謝金 イ. 研修・大会参加負担金 ウ. 校内研修会指導助言
- エ. 中学校パッケージ研修支援(豊津西中学校 西山田中学校 山田東中学校)

2 調査・研究

(1) 研究グループ活動

ア. 発達理解 イ. ICT活用 ウ. 英語教育 エ. 道徳教育 オ. 校内研修活性化 カ. 不登校対応

(2) 研究学校委嘱

ア. 言語活動 . . . 片山小学校、南山田小学校、豊津西中学校 イ. 道徳教育 . . . 高野台中学校 ウ. その他 . . . 千里みらい夢学園

(3) 教育研究団体への支援

ア. 吹田市小・中学校教育研究会 講師謝金 イ. 大阪府小・中学校教育研究会 分担金 ウ. 各研究協議会 分担金

3 教育資料の収集・発信

教育情報の収集・発信

- (1) センターだより(各月・特別号) 紀要111号(年度末に電子版で発行) 所報87号(次年度当初に発行) 要覧NO.23(毎年発行)
- (2) 教育資料等の充実・活用、検索システムの改善 情報教育用コンテンツの充実(ホームページの利用)

4 教育研究大会・教育研究報告会

- (1) 教育研究大会 1,382人の教職員が参加
本市全教職員を参加対象とした全体講演会を8月26日(金)午後を実施
- (2) 教育研究報告会 237人の教職員が参加
1月25日(水)午後実施。研究委嘱校、学研、研究グループ等の14団体が発表
- (3) 保護者啓発講演会 保護者等225人が参加
1月25日(水)午前に講演会を実施。

5 教育相談

- (1) 電話・来所相談 不登校、学習・発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動に関する相談に対応
- (2) 出張教育相談 全小学校に教育相談員を派遣し、子どもや保護者、教職員の相談に対応
- (3) いじめのなやみ相談 (専用ダイヤル)

6 適応指導教室

不登校児童・生徒支援事業 学校復帰を目標にした「光の森」活動、「学びの森」活動、「家庭訪問」活動の実施

7 特別支援教育

- (1) 巡回相談 幼稚園、小学校、中学校への個別の巡回発達相談及び小学校1年生全員を対象とした巡回発達相談の実施
- (2) 教職員の指導力育成 特別支援教育研修 特別支援教育コーディネータ研修、事例検討研修、支援学級研修の実施
- (3) 保護者支援 保護者啓発研修、ペアレント・トレーニングの実施

8 進路選択支援

進路選択支援相談 奨学金や貸付金等の進路選択に関する相談を通じた保護者等の支援

9 情報教育

- (1) 情報教育機器等の整備
ICT機器の保守・管理、校内ネットワーク環境の保守・対応
- (2) SATSUKI ネットの普及・運用
ア. 学校園ホームページの管理・更新 イ. 教職員へのID、メールアドレスの配付による運用
ウ. 「校務なび」による学校間連絡体制 エ. サーバセンターを中心としたセキュリティ確保の一元化 等
- (3) 情報教育推進支援
ア. 情報教育推進委員会 (6回開催) イ. 情報教育研修の実施 (※教職員研修欄参照)

10 学校支援

学校等支援者ボランティアネットワーク 登録者数 (2/28現在) : 901名

- (1) エス・ネット (2) スクール・ボランティア (3) 学校インターンシップ

平成29年度事業計画

1 教職員研修

- (1) キャリアステージに応じた研修の充実
初任者研修 (法定研修) 対象103名 (予定) 10年経験者研修 (法定研修) 対象105名 (予定)
5年次研修 対象96名 (予定) ステップアップ研修 (I : 2年目 II : 3~5年目)
ヤングリーダー研修 (10年研修前) 学校パワーアップ (10年研修後)
- (2) 教育研究大会
平成29年8月28日 (月) 午後 千里市民センター大ホール 今日的な教育テーマで講演を予定
- (3) 教育研究報告会
平成30年1月24日 (水) 午後 場所未定

2 教育課題調査研究

- (1) 教育センター研究グループ 今年度と同じ
- (2) 研究委嘱校 ※ () 内は年次
言語活動…片山小学校 (2) 道徳教育…高野台中学校 (2) ※3校程度を新規募集
- (3) 校内研究支援 中学校パッケージ研修

3 教育相談

- (1) 来所・電話相談 変更なし
出張教育相談 年間15~20回派遣
- (2) 大阪府スクールカウンセラー 配置校以外の変更なし

4 適応指導教室

光の森活動・学びの森活動・家庭訪問活動

5 特別支援教育

- (1) 小学校1年生を対象とした巡回発達相談の実施 (小学校1年生全巡回の1学期実施に向けて検討中)
- (2) 特別支援教育Co. 研修 共通・選択研修 各4回以上受講、受講内容の精選

6 情報教育

- (1) 新ネットワークシステム稼働に向けて (2) 情報リテラシ、情報セキュリティの徹底

【センター所長のつぶやき日記⑧】「研修に終わりあり。されど、研鑽に終わりなし。」

スーパーティーチャーがやってきた！

授業づくり研修『スーパーティーチャーに学ぶ③（国語）』

平成29年2月21日に吹田市立岸部第一小学校にて、授業づくり研修『スーパーティーチャーに学ぶ③（国語）』を吹田市小学校教育研究会国語部と共催で実施しました。

関西学院初等部教諭 野村真一先生を講師にお迎えし、『国語科物語文授業におけるユニバーサルデザイン』をテーマに、物語の展開を支える表現技法に焦点を当てた授業を見せていただくとともに、子ども達が楽しく国語的見方・考え方をつくりだしていくための授業づくりについて御講演いただきました。

野村先生は、国語科授業のユニバーサルデザインについて、以下のとおり示されています。

『特別支援教育において積み上げられた英知を生かし、学力の優劣や発達障がいの有無に係らず、すべての子どもが、楽しく国語的見方・考え方を獲得できるように工夫・配慮された通常学級における国語科授業のデザインであり、構成する3つの条件は焦点化・視覚化・共有化である。』

授業のユニバーサルデザインをかたちづくる条件について具体的に話されながら、その条件を整えたつもりであっても、上手くいかないことが多いと野村先生はおっしゃいます。授業を作る段階で必要な条件を整えたことが充分条件を満たしたということではないということです。

「動き出した授業の中で、目の前の子どもにしっかりとヒットしているかを捉えること。そして、いかに授業を進めるかではなく、いかに止め、じっくり考えさせるのが重要であると。何に心と頭が反応したのか、どこで深く語らせるべきなのかを授業の中で探すことが大切なのです。

また、考えたことを語り合うためには、国語科の用語や技法を共有していなければならない。そのために、いつ、何を獲得させるべきかを考え、確実に身に付けさせていくことが不可欠であり、その積み重ねが授業をつくるベースとなるのです。」



すべての子どもが、楽しく。

すべての教師がめざしていることです。そのためにどんな視点をもつべきなのか、何が必要で何が足りないのか。それを気づかせてくれる人物との出会いは教員の学びの意欲を高めてくれます。

◆ 教育相談 ◆

1. 出張教育相談（小学校）・スクールカウンセラー（中学校）

平成28年度は、市内全36小学校を対象に、相談実績に応じて年間派遣回数を設定して教育相談員を派遣し、出張教育相談を行いました。また、中学校に対しては大阪府派遣のスクールカウンセラー（以下SC）が全18中学校に対して年間35回の教育相談を行いました。相談内容は保護者、児童・生徒に対するカウンセリングや教職員との相談、校内会議における助言等です。2月末現在では小学校・出張教育相談が約2700回、中学校・SCでは約3500回の相談があり、特に発達障がい、不登校、心や身体に関する事等について多くの相談がありました。小学校では保護者相談が多いですが、中学校では生徒本人からの学校生活に関する相談も多くありました。相談員・SCの生徒指導会議やケース会議への参加も増えています。

2. 来所相談・電話相談

教育センターにおける来所相談と電話相談では、2月末現在で合わせて約3300回の相談がありました。主訴は不登校、心や身体に関する事、発達障がい等に関する相談が多く、電話相談から来所相談、または出張相談につながるケースも多く見られました。

◆ 不登校児童・生徒支援事業 ◆

本市適応指導教室の本年度の状況

平成28年度は、前年度と同様に「光の森」および「学びの森」の活動「家庭訪問活動」を実施しました。今年度の在室児童・生徒数は「光の森」が23名（中学3年生11名、2年生10名、1年生2名）、「学びの森」は、35名（中学3年生15名、2年生10名、1年生4名、小学6年生2名、小学5年生3名、小学3年生1名）、「家庭訪問活動」は、1名（中学2年生）です。〔いずれも2月末現在。体験中児童・生徒含む〕

本年度も、学校訪問や連絡会をとおして、学校・家庭・適応指導教室が連携して子どもを支える体制を整え、校内の適応指導教室との併用なども含めた在籍校への部分登校につながる児童・生徒が多くいました。

教職員研修

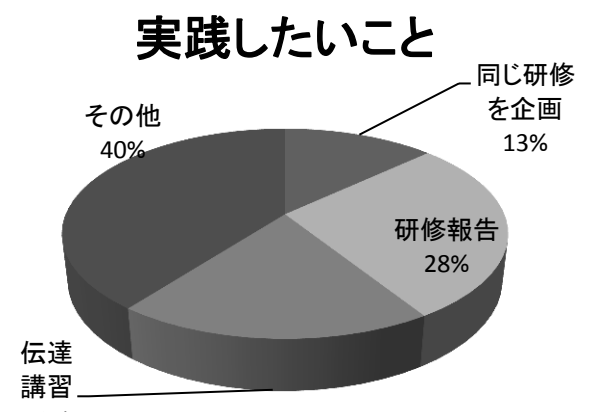
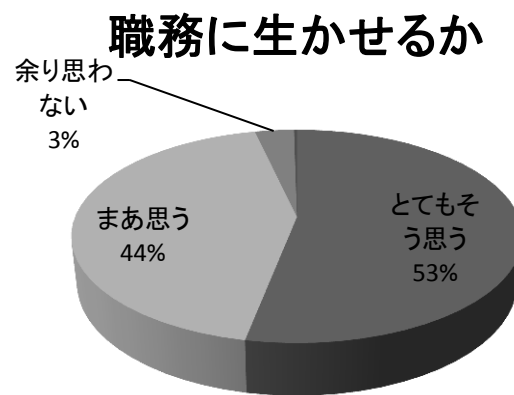
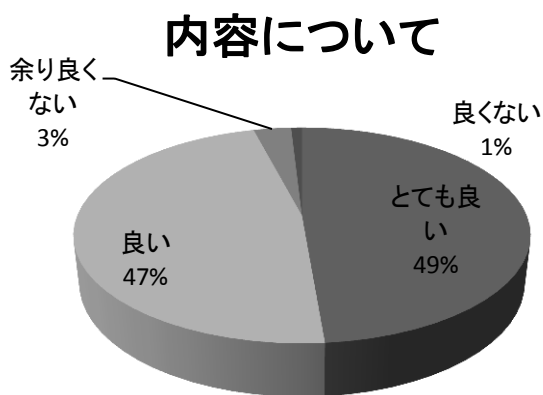
幼小中一貫教育や英語教育などの吹田市の重点施策や、次世代リーダー育成・教育課題別研修等に重点をおき、合計の研修192講座を実施し、のべ5415人の参加がありました。(2月28日現在)

■ 平成28年度研修講座と参加者数(2月28日現在) 全講座数 192 講座 参加者数のべ 5,415 人

研修名	講座数		受講者数		研修名	講座数		受講者数	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度		今年度	昨年度	今年度	昨年度
管理職研修 ※	21	21	978	942	教育課題別研修	15	17	404	477
スクールリーダー研修	6	6	183	188	英語教育研修	9	6	225	173
学校パワーアップ研修	4	4	22	33	授業づくり研修	8	8	352	586
10年経験者研修 * 選択研修は教育課題別研修へ	5	5	201	151	特別支援教育研修	16	16	913	907
ヤングリーダー研修	6	6	55	63	専門職研修	8	9	157	112
ステップアップ研修	19	18	811	892	幼稚園・小学校教育研修	1	1	72	68
初任者・フレッシュ研修	44	33	677	669	情報教育研修	30	30	365	319
					講座全体	192	180	5415	5580

※下のアンケート結果概要には含まず

■ アンケート結果概要(集計人数4,176人 回収率87.3%)



研修内容については、「とても良い」「良い」をあわせて96%、「今後の職務に生かせるか」という質問に対しては、「とてもそう思う」「思う」をあわせて97%の肯定的回答があり、昨年度同様の高い評価をいただきました。

特に、初任者研修・教育課題別研修・専門職研修では、60%以上の方から「とても良い」と評価をいただきました。

また、研修の事後活用について、報告に留まらず、「同じ研修を企画」が16.0%、「伝達講習」が19%と、昨年度よりアップしており、積極的な各学校園での研修内容や情報の共有化に向けた取組みへの意識を感じました。

他にも自由記述等でたくさんの貴重な意見をいただきました。これらを参考にしながら、今日的な教育課題や各学校園のニーズを踏まえ、次年度の研修を準備していきます。研修へのご参加ありがとうございました。

■ 講座別結果(「内容はどうでしたか?」に対する回答)

